

令和5年度企画運営委員会開催

令和6年3月13日(水) 会場 イヤタカ

◎令和5年度事業報告・令和6年度事業計画(案)を審議

◎重点事項2項目の取り組みを了承

- ・セミナー・講演会の開催や各種情報提供を通じて生産性向上などの課題に対する会員企業の取り組みを支援する。
- ・会員増強を図るとともに、会員相互の交流を促進する。



3月13日(水)秋田市中通のイヤタカにおいて委員8名、事務局2名が出席し、令和5年度企画運営委員会が開催された。企画運営委員会は、協会の会務、事業の企画および運営に関する基本的な事項についての調査研究を目的に設けられており、本会議は5年度の事業実施状況、次年度の事業計画(案)の調査のため開催されたもの。

会議は、立田委員長が議長となり最近の経済動向に触れながら開会の挨拶を行った後、審議となった。

審議事項は(1)令和5年度事業計画の実施状況報告(2)令和6年度事業計画(案)についての2点。小野専務理事より5年度重点事項2項目「会員増強」と「財政基盤の安定」を含め、事業実施状況の報告がなされた。会員数の増強については期末会員数が273先と、目標の270先を3先上回る見込みであることが報告された。会員数が前年比プラスになるのは10年ぶり、各支部の取り組みが目標達成につながったもの。新年度においても重点事項に捉えて引き続き取り組んでいくとした。

財政基盤の安定については、2月末ベースの仮決算の結果から赤字幅が縮小する見通しであることが報告された。秋経協・セミナーについては、ウイルス感染防止の観点から前年に引き続き受講者数を制限しての開催だったが、セミナー1開催あたりの受講者数が19名とコロナ前に回復しつつあることが報告されたほか、各会議の開催状況、二水会活動および広報・交流活動の実施状況が報告された。

6年度事業計画(案)については、重点項目の第1に「セミナー、講演会や各種情報提供を通じて生産性向上などの課題に取り組む会員企業を支援すること」を掲げる旨の報告があり、参加した委員の了承を得た。

議案審議終了後、各委員の業界における価格転嫁状況や直面する問題点、課題などが話し合われ、活発な情報交換となった。